

学科名	電気通信工学科							
科目名	電子回路 I 演習(再履修、集中講義)							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース) / 必修科目(電気エネルギーコース) / 必修科目(情報システムコース)							
担当者	江崎 秀							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイオード、バイポーラトランジスタ(BPT)、FETの基本特性を理解し、近似できる。 ・ダイオードを用いた整流回路を覚え、解析することができる。 ・BPTの動作のしくみを理解し、バイアス回路の適切な設計指針を覚える。 ・基本的なBPTエミッタ接地増幅回路を覚え、直流回路と交流回路に分離できる。 ・BPTの小信号等価回路を覚え、エミッタ接地回路を小信号等価回路で表現できる。 							
日程と内容	1回 8/1 小テスト① 2回 8/1 小テスト② 3回 8/1 小テスト③ 4回 8/2 午前① 5回 8/2 午前② 6回 8/2 午後① 7回 8/2 午後② 8回 8/2 午後③ 9回 8/3 午前① 10回 8/3 午前② 11回 8/3 午後① 12回 8/3 午後② 13回 8/4 電子回路 I 定期試験 14回 8/4 電子回路 I 演習定期試験							
成績評価基準	定期試験	90%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	10%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイオード、バイポーラトランジスタ(BPT)、FETの基本特性を理解し、近似できる。:達成した ・ダイオードを用いた整流回路を覚え、解析することができる。:達成した ・BPTの動作のしくみを理解し、バイアス回路の適切な設計指針を覚える。:達成した ・基本的なBPTエミッタ接地増幅回路を覚え、直流回路と交流回路に分離できる。:達成した ・BPTの小信号等価回路を覚え、エミッタ接地回路を小信号等価回路で表現できる。:達成した 							
反省点	再履修生専用の集中講義である。学期修了後、集中的に「問題を解くこと」に集中して授業を組み立てたことと、不合格になれば留年が確定することから、合格率は高かった。欠席した学生が1名いたのが残念である。							
来年度の計画	今年度の2年生向け授業は不合格者が増えたので、来年度は十分な準備をして授業に臨みたい。また欠席者が出ないように、周知をさらに徹底したい。							
授業評価アンケートに対するコメント	10点総合評価で平均8.4点だった。その他の項目では「授業に刺激され授業内容に興味を持つようになりましたか。」が3点台だったのは残念だった。問題を解くことに集中しつつも、電子回路が果たす役割・意味をきちんと伝えるよう工夫したい。							
履修登録者数	10名	定期試験受験者数	9名	合格者数	8名	合格率	89%	